

タカラコラボラボ 第16回・第1期第16回TaCoLAB(宝塚市協働のまちづくり推進会議) 議事録	
開催日時	令和7年(2025年)10月3日(金) 10:00~11:30
開催場所	会議室A・B
次 第	1 開会 2 議事 (1) つながりカフェ TaCoLAB について (2) 協働の事例集の更新について (3) 来期(2期)への引継ぎについて 3 その他 (1)「歩いて行ける小さな花火大会」企画・運営の舞台裏 情報共有会 (10/17)開催について 4 閉会
出席委員	田中会長、加藤委員、遠座委員、松村委員、龍見委員、大関委員、平岩委員、大関委員、永崎委員
開催形態	公開(傍聴人2名)

1 開会

事務局から、本日の出席者は9名であり、宝塚市協働のまちづくり推進会議規則(以下「規則」という)第5条第2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること、及び傍聴希望者は2名であることを報告した。

2 議事

(1) つながりカフェ TaCoLAB について

ア 9月の開催結果報告

表記について事務局より資料に基づき報告を行い、意見交換を行った。

- (ア) ゲストで来てくれた方が「何かしたい!」というすごく意欲的な方だったので、皆さんがどんなことをしているのかや、自分に何ができるかについてお話することができた。
- (イ) つながりカフェの後、もうすでに何をしようか!と動き出していると聞いている。
- (ウ) ゲストで来てくれた方は、まち協の総会などで顔を合わせていて、「何かしたい」という気持ちがすごく溢れている方だったため、今回お誘いした。やはり「やりたい」が溢れていた。
- (エ) おそらくそのあと zukavo へ来られた。やりたいことがいくつかあったので一つずつできることから取り組んでいくこととなった。

- (オ) (会長) 今回のつながりカフェを経て、やりたいことが、次のステップへ展開したことは成果としていえる。
- (カ) (エ委員) 10月半ばごろに一度やってみることとなった。
- (キ) (事務局) このつながりカフェは何かやりたい人のきっかけになればというところから始まったと思うが今の事例を聞いて、そのとおりになっていてすごく感動した。何かやりたいけどどこにいけばいいかわからず、ボランティアセンターなどへ相談に行くのも少しハードルが高いというときに、ハードルが低く、聞きやすく、次につなげていきやすいものになっていると思う。
- (ク) 今回だけでなく、これまで参加してくれたゲストの方や公募の方々と私たちもつながることができた。「どんなことをやっているんですか？」と聞かれたときに、自分たちのやっているイベントや祭りを案内したり、他市の事例なども共有することが出来る場にもなる。
- イ 今後の開催について
- (ア) (事務局) 今回で12月と1月の開催場所を決めたい。
- (イ) (会長) 前回、右岸と左岸の両方で開催していくという話が出ていたと思うが、左岸がここおる、右岸がまちかど農園でよろしいか。
- (ウ) (事務局) ピピアめふについて場所の雰囲気はどうだったのか、今後の開催場所としてどうなのか聞きたい。
- (エ) ピピアめふは場所としても広く、何かしているのかが一発でわかるため、絶好の場所だなと思った。何をしているのかが見えるのが良いなと思った。
- (オ) (会長) 今回は12月と1月の開催場所をそれぞれ決めるのか。
- (カ) (事務局) それぞれというよりは右岸と左岸の場所が決まれば交互で開催させてもらおう。12月が左岸か、右岸かについては場所の都合もあるため、考慮しながら事務局で決めさせてもらいたい。左岸はここおるかピピアめふかについては空いている方で設定させてもらって問題ないか。
- (キ) (会長) それで問題ないと思う。
- (ク) (事務局) 夜の開催であればここおるのみになる。日中であればピピアめふかまちかど農園 PoSTo も開催可能。時間帯をどこにするのか決めていただきたい。
- (ケ) (事務局) あくまでこれまでに開催した場所の中で候補をあげているため、そのほかに候補場所があれば発言いただきたい。
- (コ) 右岸はまちかど農園 PoSTo のみだが、アピア1などでどこかないか。
- (サ) (事務局) アピア1の中でできるところがあるかはまだ把握できていない。こちらで確認させていただく。
- (シ) (事務局) 12月、1月の開催については現時点で候補にあがっている場所を決めさせていただきたい。アピア1についてはそれ以降で検討させていただきたい。

- (ス) (事務局) どの時間で開催するかについてご意見をいただきたい。
- (セ) 9月の参加者のアンケートに「もう少し遅い時間帯で開催してほしい」との意見がある。
- (ソ) (事務局) 前は13時～の開催だったが、もう少し遅い時間帯での開催でもいいかもしれない。
- (タ) (会長) 夕方ごろだと夜ごはんの支度の時間と被るため、その時間帯は避けた方がいいように思う。
- (チ) このもう少し遅い時間帯というのは15時くらいを想定していると思う。
- (ツ) (事務局) 一度ピピアめふで15時ごろからの開催でさせていただき、まちかど農園 PoSTo は日中の場所が空いている時間帯で調整させていただいて問題ないか。
- (テ) (委員全員) 反対意見なし

(2) 協働の事例集の更新について

ア インタビュー 現在の進捗状況の報告・今後の予定について
表記について事務局より資料に基づき説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) 意見・質問等特になし。

イ 作成中記事(案)についての共有、校正

標記の件について、2名のライティング担当より記事(案)について説明を行い、意見交換を行った。(記事内容に関する意見交換省略)

ウ 事例掲載ホームページのタイトルの意見出し

標記の件について事務局より説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) クが良いと思う。「未来」とあると大きく感じて良いと思う。最近よく言われてる10年後、20年後はどうあるべきかというのにも適っていると思う。
- (イ) クの「未来のかたち」は良いと思うが、その前の「ともに」はケにある「一緒に」の方が親しみやすくいいと思う。
- (ウ) (会長) ケとクの折衷案の「一緒につくる未来のかたち」ということだがどうか。
- (エ) (委員全員) いいと思う。
- (オ) (会長) それでは、タイトルは「協働の事例集～一緒につくる未来のかたち～」で決定とする。

(3) 来期(2期)への引継ぎについて

ア 引継ぎ書(素案)の検討

標記の件について事務局より説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) (会長) まず4「宝塚市協働のまちづくり推進会議第2期への申し送り」について審議したいと思う。また、その下の「★第2期への引継ぎ検討事項」については前身の促進委員会の申し送り事項にあったが、今期では審議できていない事項になる。それについても審議していきたい。
- (イ) (1)のつながりカフェについて、実施はもう既にできているため、効果の検証や、それを踏まえて今後続けていくかどうかの判断材料を揃えるところまでは1期でした方がいいのかなと思う。(2)の協働の事例集についてはまだ公開していないのでどのような効果があったかを検証することはできないと思うが、どのような効果が予想されるかは想定しておくと思わずではないかなと思う。また、「★2期への引継ぎ検討事項」の(1)「コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの育成・支援の推進」や(2)「市民活動・地域活動における有償・無償の考え方」についてはこの協働のまちづくり推進会議の位置付けに関わってくるかなと思っている。もし協働について市の方向性を決めていくものであるのならば、個人的には(2)の「有償・無償の考え方」については議論しなくてもいいかなと思っているが、(1)については地域活動団体が、補助金制度などに依存せずに、どう自立していけるかという視点については非常に大事だと思う。この審議会では協働について市の方向性を決めていくのであれば議論すべき事項かなと思う。
- (ウ) (2)の「有償・無償の考え方」については様々なケースがあり、その都度変わってくるので、審議会では検討するのは難しいように思う。(1)についてもつながりカフェと関連性があると思うので、個別で課題などを出してもらって、そこで議論すると発展していくのではないかなと思う。
- (エ) (2)の「有償・無償の考え方」について、まちづくり協議会で活動していると、助成金をどこに使えるのかというのがあり、イベントをしていると食べ物には使えないなどということがある。助成金をどこに使えるのかについて議論をする場ではあるのかなと思う。最近、今後助成金の使える範囲が狭くなってしまうかもしれないことや、他の市のまちづくり協議会では事務局で大変な部分は担っているという話を聞いた。これは審議会では議論する事項になるのか。
- (オ) (事務局) 現在補助対象経費として飲食(お茶を除く)は除外させていただいている。これについては15年ほどかなり長く議論している事項となる。例としてまちづくり協議会の補助金があがっているが、この補助金に関わらず、飲食に公金を使うことに対してハードルが高い部分がある。地域活動団体に対する助成金の対象経費として飲食をどうするのかということについては議論の対象になると思う。まちづくり協議会の助成金の金額の実態としては他市の方が多く、助成金だけでなく事務的な支援も行っている市がある。市の現状を踏まえた上でまちづくり協議会の助成金のあり方としてどうあるべきかというのは審議会の議論としてあっても問題ないと思う。

- (カ) この会議の目的として「協働を推進する」というのがあるが、前身の促進委員会で作成した委託契約ガイドラインの中で出たのが(2)の「有償・無償の考え方」になる。委託の中で人件費についてもある程度補助金などで賄えるべきではないかというのがあった。協働のまちづくりにおいて、行政をサポートしていくのが住民であるため、その住民に対して無償で働けというのがだんだんできなくなってくる。そのため、この(2)については有償の部分を増やしていかないと人材がいなくなるのではと思う。そういった意味でも議論していく必要があると思う。
- (キ) (会長) (1) と (2) はそれぞれ別々の項目に見えてすごく関連性のある項目かなと思う。
- (ク) (1) についても補助金だけでなく自分たちでどうしていくのかというのがあると思う。やろうという人の動機付けとしてコミュニティ・ビジネスをしてそこから得たものを分配していくというのと補助金も分配できるというのは関係してくると思う。
- (ケ) (会長) 項目を外すのではなくて今後2期でそういった話が出てくるかもしれないので、項目として置いておいた方がいいという意見が多かったように思う。既に終わっている話だという意見もあったが、今の意見を聞いて項目としておいておくことについてどうか。
- (コ) (ウ委員) 問題ないと思う。2期で議論してもらえればと思う。
- (サ) (事務局) 先ほどつながりカフェの効果についてご指摘のご意見があったかと思う。それについては、実際につながりが生まれていることで効果が出ているかと思う。また場所についても左岸・右岸に分けて考えていこうということがあったので、今後整理していければと思っている。今年度中は比較できる情報を集めて、考えていければと思っている。本日欠席の委員より事前にご意見があったが、会議体制についても事務局として資料の送付が直前になってしまっているため、もう少し早めに皆さんに目を通していただけるように整えていきたいと思う。
- (シ) つながりカフェについては第4期の地域福祉計画にも記載されている。現段階で実際にプレイヤーづくりにつながっているかどうかについてはまだまだである。もしつながりカフェを検証した結果続けないということになれば、地域福祉計画から外していかないといけない。現段階ではまだ途中段階かと思うが、判断については慎重に行わなければいけない。
- (ス) (会長) 確かに現在行っているのと同時に効果を見ていくことは難しいため、途中段階として一度見るのが良いと思う。

3 その他

- (1) 事務局より「歩いて行ける小さな花火大会」企画・運営の舞台裏 情報共有会(10/17)開催について周知を行った。

4 閉会

以上